和歌師細見

全

諸方會日附

伯樂街角力會　四之日　金料　百文

黒人角力會　七之日入る　四十文

落栗庵定會　さんの日　級料二十文

高座　十之日

孫座　二之日

印

印

印

年中月次題

これハ落栗庵のあるじ先生のこころもとなくしなり

正月　子日の琴　万歳哀

二月　彷午生弊　西行哀　寄蛙哀

三月　下戸曲水　撞樓楊　寄岸哀

四月　馬士更衣　舟肉体　寄牡丹哀

五月　所高帯　有名筆　寄百合哀

六月　山家涼　四夕立　寄蚊哀

七月　七夕　迷史　寄鋪哀

八月　両智屋家　名月　寄於世哀

九月　菊角力　十三夜　けんせいの秋

十月　俳屋体　里塚風　寄岸哀　寄亀哀

十一月　女雪打　空也哀　寄氷祝

十二月　年の夕　年代市　掛乃哀

右題ハ外探訪ゆく蒙座あり

狂歌師細見序

緑丞の内乃たゝ會よりハ松やゝ九年ゝるすゝく古ゝ夷曲の内より伝ふる今の狂歌乃風より原細乃乃繪畫ゝなどゝ人歌人の狂名をこの紀集て散楊の楊木めちゝ名賣るときハの汐影ゝと文ゝく千重乃利徳をせゝめる勘定をゝたゝ相生の五葉を変ぬ序文の契りゝ書林よりこのゝゝて迷るといふ

明誠堂主人

戯文坂
高
孫
御書
本
門
座
江戸中

目白ハ江戸ヨリ
ヤ
ヤ
ヤ

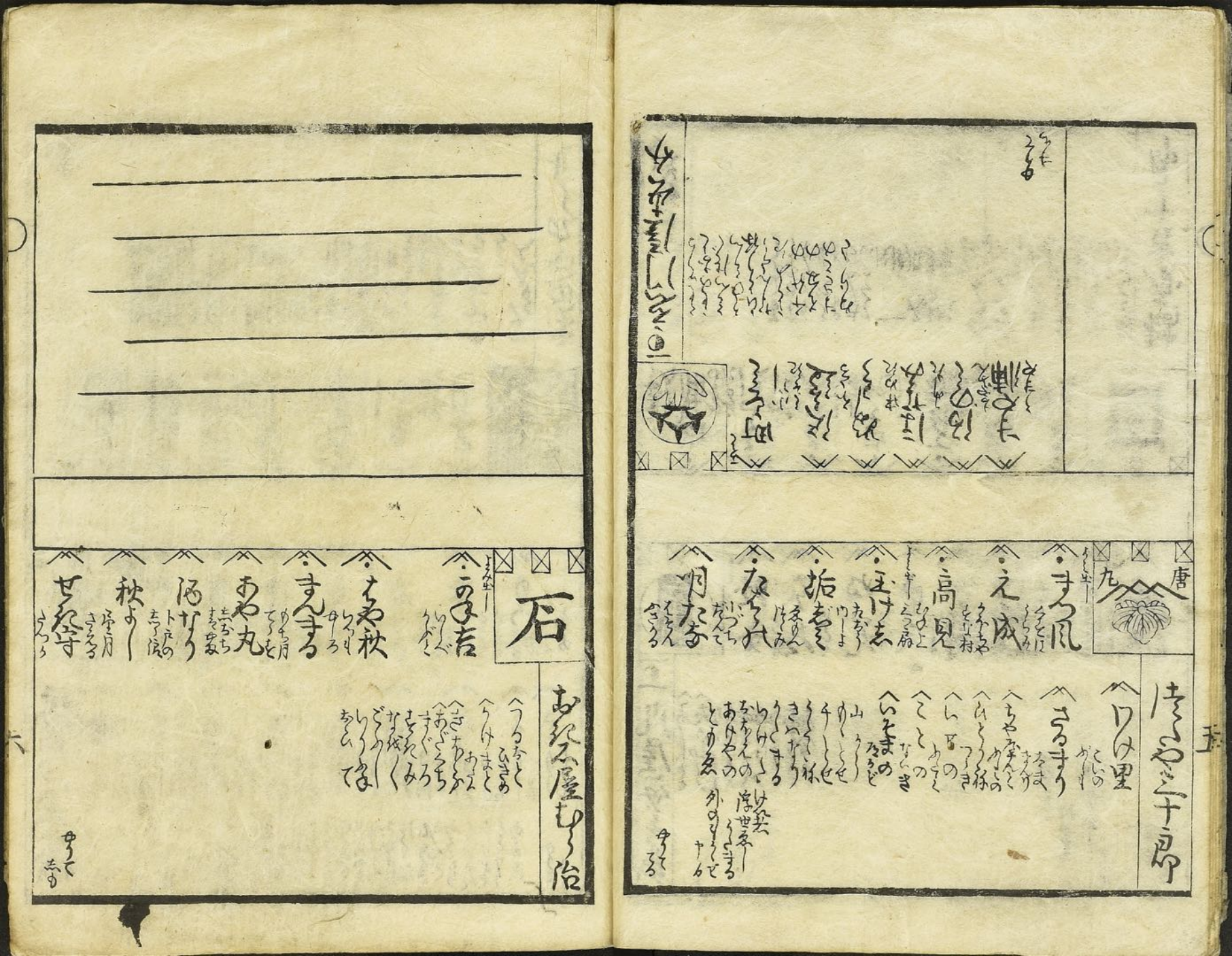
江戸中狂歌師名寄

性根玉の墨すり
一ぢと
なにほ
玉川
みち橋
ゆき雪
中山
川柳

巴の字四方七

此この　穴ぬし　よく人　ふし　たらし

さるまる　けんせう　まつ風　白人　一文字　なつ金　言殺



落栗屋蔵

金らち　いてのわめ　せいしゅう

さる野　ひんかあくめ　きんき安　あくの原　ゆてきく

あぜた　ふくしまく　ひたちの国　ひせん　ひかり　らくやく　とかく

あぶの　ふくしまく　ひたちの国　ひせん　ひかり　ふくるまき　ひとむ　こすり

おやな　ひかりの井　ほるま　せいしゅう　ちやく　ちやく　牛ろう　さぢさ　たくく　ひがき

浦賀　ほり　細　ちんぐ　かるくち　ちやさん　ひげを　ちくり　あくの原　ゆてきく

さるりん　あくまの　さら　ちくり　きくり　ちくり

山ぐち　たくれん　ひらき

吉野　ちくり　さくら

きくり　ちくり　ちんぐ

ちくる　行つる　ほる

有まき　うんき　めらい

まるる　ちまき　きくる

ゆろ鰆　くうや　ひめ

万字屋万兵衛

おち栗やちろん

おすまち

なるあれ
さんちろ
こるる
ろくしほ
はくくさ
うにくる
ぬくんと
ゆきなろ
ゑ

ためさ
おしかり
くるる
きょうう
ぬ
いるちや
しみ
ちんと
あつまる
たくさ
よふう
ちん外
さちさ紀

はく金
あくの
くえん

白ぬ
くるる
ぬくん

たいく
さえん
こくく

大たで
ゆかり
とさえ

とろ保
さえつま
かくさ

仲すき
いまま
ちく

ろん令
くえく
ちう

秋ろひ
ちう

魚どきやちう

うちろや定九ろ

ちうちん
たきとめ
ちうの

やみの
よいち
ろんや
ろいや

ざろよや

ざろよや宇ム多

やくうう
きくうう
ちうく

くんやま
ゑちち
あえた
ひてう
うづき

ちうく

東作ハ宝和五年オリヲ門後ノ詠人
寛政元年七月没

戯作者之部　　画工之部

喜三二　朱楽りん江　可可川　豊春　北尾　重政
意川ゑる町　唐来　参和　勝川　春章　同　政演
四方　赤良　森羅万象亭　同　春朗　同　政美
岸田　杜芳　鞠江　万治　同　春常
芝　全交　千差　万別　同　春卯　勝川　春好
通笑　鯉　滝昇　同　春英　同　春林
京傳　太平　有象　同　春暁　同　春潮
宿屋　飯盛　千窪　万亀　同　春山
烏亭　馬馬　千秋　万歳
豊　里舟　江口　顕象　開　清長
業平橋　ゑんび　七珎　万宝　古川　三蝶
杣人　隣生　りゝ磨
雲楽　蒂野　横好　行磨
登来山人　帰橋　南陀迦　紫蘭　目吉
志水　ゑん十　意川　ゑゑ町
宇三太
亀遊

作者頭取
平秩東作

九

狂歌師細見跋

さを二葉の松乃栄よりてこゝい松ハ若葉集そのへを
こゝゝよりゝ葉乃あやんがゝちゝれよ萬載集を
あしぶゝめゝき宝の君乃名寄の数栄ゆく狂歌乃
名ゝよかゝゝ又葉の松よゝゝ付ハ苔屋よあや
まる贅屋乃点ゝそ正真高名の残りあゝざる自
悔のゝゝ花のお江戸乃大先生赤ゝ良茂江ゝ阪り
ゝく木あゝ橋洲よいさゝゝせだちゝおしだよゝも
よゝ京細見しゝゝ月よあゝゝ玉乃春のゝゝめ乃
知足振つくさぬ落葉とちゝゝかく　四方山人

十

細見花言

はらふーしあとておワひなさいけん

まゝぬそのおさらさん作

絆畫堂藏板

狂哥評判記 五名子作

狂歌役者附 同作

方